

別記様式(第7条関係)

## 会 議 録

- 1 会議の名称 富士川町歴史文化施設人物館検討委員会
- 2 会議日時 令和3年4月22日(木) 14時00分から14時50分まで
- 3 開催場所 富士川町教育文化会館 3階会議室
- 4 出席者数 (1) 委員 5名  
(2) 事務局 5名
- 5 議題 人物選定について
- 6 委員会内容
  - (1) 開会
  - (2) 委員長あいさつ
  - (3) 議事
    - ①人物選定について
    - ②その他
  - (4) 閉会
- 7 発言の内容
  - ①人物選定について  
事務局 委員及び事務局で抽出した30名の候補者について、経歴を中心に説明。  
人物館で紹介を行う人物を選定していただきたい。
  - 委 員 まず選定基準の確認をする。  
第1回目の委員会でも資料として出ていたが、対象者は、「故人とする」、  
「年代は近代・現代(明治以降)」、「富士川町に在住歴がある」という基  
準でよいか。
  - 委 員 異議なし

委員 選考基準に異議はないが、選考から漏れた人物も、何らかの形で紹介できるといい。

委員 山梨県の人物館や南アルプス市の人物室では、サイクルを決め展示している。また、人物館で紹介する人物の選考もオープン後も検討している。オープン後も検討する中で更新していくことも可能である。

委員 萬屋醸造店の中込旻氏は、六代目当主として選考対象として申し分ないが、与謝野晶子夫妻が山梨県に来訪し、萬屋醸造店に来て春鶯囀という名前が生まれたのは、弟の純次氏の功績が大きい。また、その弟の注三氏は、中央大学でドイツ語の教授を務め、妻が数学者の西田幾多郎の妹であり、中込三兄弟として取り上げるといい。

委員 候補者の中から、この人は人物館の紹介人物としてどうなのかという候補者がいれば意見をいただきたい。

委員 保坂梅芳氏は、他の候補者と比較し全体を見る中で、少しひっかかる部分がある。

委員 教育や音楽という分野での人選を考えた場合、青山靖氏もそうだが、郷土史研究者として峡南地域では大変功績が大きい。県内外で活躍した人物はもちろんであるが、このように地域で活躍した人物も富士川町の人物館としては紹介できたらと思う。

委員 厳しく人選していくと中々候補に挙がってこない人物も含まれていて、大変興味深い人物も選出されている。

委員 富士川町という地域ならではの人物が選考されており、バラエティに富んだ30人でとても良いのではないか。

委員 保坂梅芳氏と一緒に活動していた作詞家の宮澤洋氏はどうか。

事務局 宮澤洋氏については、保坂梅芳氏と共に鯉沢中部小学校の校歌を作られた方だが、調べると保坂梅芳氏ほどの実績は無さそうであったので候補者

からは外させていただいた。

委員 深沢幸雄氏のように誰もが知っている人も地域でしか知らない人も選ばれていてバランスが良い。

委員 伴野寅吉氏は、どのような方だったのだろうか。

委員 現在の大法師公園を整備するために多額の私財を寄附してくれた方であると聞いている。

委員 塩沢清氏は町内の学校の校長先生も務めている。

委員 五開中学校にも赴任しており、新聞コンクールで10連覇をしたときの指導者であった。

委員 元町長や元県議といった名誉町民の取扱いをどうするか。

委員 総理大臣になった石橋湛山氏は人物館で紹介すべき人物であるが、元町長や元県議といった政治家として名誉町民になっている方は、他の人物館と同様に今回は外すということではないか。

事務局 熊王徳平氏は刑事施設に収容されているという経歴もあるが問題はないか。

委員 昔は思想犯でもそのようなことがあった。今でいう暴徒やテロという行為ではなく懲役までは無いと思うので問題無いと思われる。

委員 今回30名が候補者として選ばれているが、富士川町の人物館としては、この30名を紹介していくということによろしいか。

委員 異議なし

8 閉会